

動物病院における被災動物支援加療状況 (6/11～9/10)



	加療頭数
犬	649
猫	234
計	883

* 別に5/11～6/10に632頭実施
総計 **1,515頭**



その間の加療頭数は9月までで1,515頭に上りました。

動物管理センターの対応状況 (平成23年3月11日～平成24年3月31日)

単位: 頭

	保護	引取	返還	譲渡
センター	351	63	206	181
その他	43	0	26	0
計	394	63	232	181

	保護	引取	返還	譲渡
センター	1,037	125	10	379
その他	8	0	2	0
計	1,045	125	12	379

動物管理センターの対応状況ですが、3月11日から翌年の年度末までセンターに収容された動物はこの表の通り、保護が1,439頭、引き取りが188頭、その内飼い主の元に戻れたのは244頭、新たな飼い主の元に送り出したのは560頭におよびました。

失踪情報受付

単位: 頭

	失踪届総数	返還数
失踪犬情報	659	260
失踪猫情報	510	106
計	1,169	366

失踪情報です。失踪情報が寄せられたのは1,169件、その内366件は飼い主が判明し、飼い主の元に戻れました。

避難所に動物を同行している飼い主支援

- * 避難所にペットと共に避難している飼い主の支援については、震災直後から市・獣医師会・ボランティア独自で近隣避難所における同行者の把握・情報交換を行いながら、物資・獣医療・相談受付などを行った。
- ペットを同行している飼い主実態調査、必要物資の把握・運搬・提供、要望及び上げ・仲介
- 避難所が集約されていくに従って問題が表面化してきた

様々なペット受け入れ対応の形

- 地域防災計画の避難所マニュアルの中にはペットスペースを設けることとある⇒原則室外⇒現状とそぐわない⇒町内会ごとの準備レベルによる差・運営委員の動物意識の差、学校長の裁量の差

では、避難所にペットと共に避難している飼い主への支援はどういう事をして来たのかという事をお話します。獣医師会とボランティアと避難所の方に入り込んで実態の聞き取りをして、必要物資の配布、健康チェック、治療、予防、相談くみ上げを行ってきました。避難所設置マニュアルの中にはペットのスペースを設けることとありましたが原則室外となっておりまして、最大288の避難所が設置されましたが、避難所によって実に様々な形の受け入れで、日々変化していったというのが現状です。



これは避難所の3月16日の状態ですが、このような状態で、ここでは、ペットが中に入れるような状況ではありませんでした。

